

改善計画書

施策番号	局・部	担当課	職名	氏名	電話番号(直通)
11120	健康福祉局 福祉部	地域福祉課	課長	甘利 賢治	042-769-9222
施策名	地域で助け合う福祉活動の推進				

1 施策の目的

幅広い市民参加により、相互に支え合う地域社会の実現をめざし、市民の福祉活動への支援を行う。

2 取組み(目的達成するため、課題解決に向けて取り組んだ内容・事業)

- 「相模原市地域福祉計画」に基づき、福祉コミュニティ形成モデル事業を実施した。
- 市社会福祉協議会を通して、地域で活動するボランティアグループや高齢者の見守りや交流などの地域における支え合いの活動を支援した。
- 援護を要する人に対する相談・助言・支援などを行う民生・児童委員の活動を支援した。

3 実績値の分析(目標値に対する実績値について、取組み内容の効果・成果を分析する)

- 地域における福祉課題の発見・共有・解決のしくみである地域福祉推進会議の設置数を指標としているが、平成20年度までは指定したモデル地区における取り組みだったため目標どおりの実績値となっている。なお、モデル地区においては、チラシ等による周知を通じて、地域住民の福祉への理解の向上と幅広い参加による支え合いの地域づくりに取り組んだ。平成21年度以降は、こうしたモデル地区の成果を踏まえながら、地域の主体的な取り組みとして実施するものであるため、成果の周知による地域住民の地域福祉への関心の高まりと幅広い参加、市や市社会福祉協議会による有効な支援などが重要であると考えている。
- 一方で市民満足度調査の結果は、満足度・重要度ともに平均値を下回っており、福祉コミュニティ形成事業を市全域へ普及させていく中で、地域で助け合う福祉活動の重要性の認知度を高め、幅広い参加と活動の活性化を促進していく必要があると考えている。

4 平成20年度評価結果(3次評価での指摘事項及び意見)

1次評価	C	2次評価	C	3次評価	C
------	---	------	---	------	---

- ◆団塊の世代の活用なども視野に入れた施策を検討すること。

5 改善に向けたスケジュール

平成 20 年

平成 21 年

平成 22 年

改善項目	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
①福祉への理解と意識の向上																				
○福祉コミュニティ形成モデル事業の実践報告シンポジウムの開催		●																		
○地区社会福祉協議会に対する周知			●																	
			【地区社協部会での説明】																	
○地域福祉への理解と意識向上に向けた取り組み					●							●					●			
②福祉コミュニティ形成事業の推進					【福祉のまちづくり研修会】						【市民福祉の集い】					【福祉のまちづくり研修会】				
○福祉コミュニティ形成事業支援要綱の検討・策定			●			●														
		【案策定】				策定														
○福祉コミュニティ形成事業マニュアルの検討・策定						●														
						策定														
○支援要綱、マニュアルに基づく福祉コミュニティ形成支援					●						【事業実施地区の地域福祉推進会議の設置・運営等支援】									
			【21年度実施地区募集・決定】								【22年度実施地区募集・決定】						●			
③地域福祉活動への参加促進																				
○団塊の世代など新たな担い手の地域福祉活動への誘導の検討																				
		【福祉コミュニティ形成事業マニュアルの検討】					【福祉コミュニティ形成事業を通じた検討】													
○団塊の世代など新たな担い手の地域福祉活動への誘導の実践																				
							【マニュアルに基づく福祉コミュニティ形成事業の実施】													